【六甲高山植物園】冬季特別開園

雪を割って咲くバイカオウレンで、一足早い春の息吹をお届け

六甲山観光株式会社(本社:神戸市灘区　社長:妹尾昭孝)が運営する六甲高山植物園では、寒さ厳しい冬季は休園(2026年11月30日～2027年3月12日)となりますが、雪を割って咲く早春の花々をご観賞いただくため、2027年2月20日(土)から3月7日(日)までの土日祝限定で**「冬季特別開園」**を実施いたします。

園内がまだ厳しい冬の寒さに包まれる中、約50㎡と日本有数の植栽面積を誇る**「バイカオウレン」**が凛と咲き誇り、訪れる人に春の訪れを感じさせます。バイカオウレンは、**植物学者・牧野富太郎博士が**幼少時、自宅すぐ裏の金峰神社で見てから**生涯愛した花**としても広く知られています。

◆バイカオウレン(キンポウゲ科)

林下に生育する高さ4～15cmの多年草。当園では、早春に最も早く開花する花で、梅に似た花と端正な五角形の常緑の葉が特徴です。

【開催概要】

日　　時:2027年2月20日(土)～3月7日(日)の土日祝
10:00～16:00(チケット販売は15:30まで)
※西入口のみ開門/荒天中止
※開花状況等の詳細は[公式サイト](https://www.rokkosan.com/hana/)をご確認ください。

入園料金:大人　800円　/　小人　400円　※特別割引料金にてご入園いただけます.

駐車料金:1，000円

催　　し:早春の花を巡る「花のガイド」(①10:30～　/　②13:00～)

特　　典:①初日限定プレゼント:2月20日(土)のみ、先着100名様に「コケモモの苗」をプレゼント
②お得な回数券:入園回数券(8回券)を特別割引価格で販売(4,500円⇒4,050円※450円お得)
③来園者特典:「六甲高山植物園オリジナルカレンダー」をプレゼント





◆リリースに関するお問い合わせ先
六甲高山植物園
TEL:078－891－1247　／　FAX:078－891－0137
〒657－0101　神戸市灘区六甲山町北六甲4512－150

◆営業概要
【開園期間】 開園中～11月29日(日)　※来シーズンは、2027年3月13日(土)より開園
【開園時間】 10:00～17:00(16:30　チケット販売終了)
【入 園 料】 大人(中学生以上)900円　／　小人(4歳～小学生)450円
【駐車料金】 1，000円
※荒天により営業・イベントの内容を変更・中止する場合があります。

六甲高山植物園

六甲高山植物園の特別開園を彩る早春の花々！



◆セツブンソウ〈キンポウゲ科〉

【花期】2月下旬～3月中旬

まばらな温帯夏緑林の林内や草地に生える小型の多年草。茎は高さ5～15cmになります。5枚の白色の萼片から覗く黄色い花弁はよく目立ち、蜜を出して虫を呼び寄せます。本州の関東地方以西に分布する日本の特産種で、石灰地域によく見られる傾向にあります。当園は**約20，000球**のセツブンソウを植栽しています。



◆フクジュソウ〈キンポウゲ科〉

【花期】3月上旬～4月上旬

林の周縁部等に生える多年草です。花の咲いている時期は約15cm程度の高さですが、花後は根茎から多数のひげ根を出し、30cm程に達します。金色に咲く花はその姿から**おめでたい花**としてなじみ深く、**「福寿草」**と記されます。パラボラ型の花で太陽光を中心に集め、その熱で寒い時期に飛ぶ昆虫を呼んでいると考えられています。



◆ザゼンソウ〈サトイモ科〉

【花期】3月上旬～下旬

雪が溶けると間もなく、濃い茶色の仏炎苞(ぶつえんほう)がむっくりと顔を出します。その姿が、**達磨大師が座禅を組んでいるようにみえる**ため、「ザゼンソウ」と和名が付けられ、別名「ダルマソウ」とも呼ばれます。まだ雪の残る中で咲くこともある本種は、開花直後に**自ら発熱**し、仏炎苞の中は20℃前後になることが知られています。ミズバショウと同じ仲間で、葉は花が終わるころに伸びてきます。



◆ヘレボルス・チベタヌス〈キンポウゲ科〉

【花期】3月中旬～4月上旬

「幻のクリスマスローズ」と呼ばれ、クリスマスローズの仲間の中で唯一、アジアに分布しています。ジャイアントパンダやハンカチノキを発見したプラントハンターのアルマン・ダヴィッド神父が1869年に中国の四川省付近で採集しており、当時その近辺をチベットと呼んでいたことから、学名に「チベタヌス」と入っています。当植物園では自生地に近い環境で植栽しています。